ファイナルマー

・ケット

相談役

川武志氏

紹介してください。 召介してくぎさい。ライテック」について

当社は、

ウェイ」の販売を開始

フッコー

Ò

のPOC用のバインダ

開始した。従来、骨材

ザイン賞の金賞をいた

いたことで、急激に

品質の良い製品ができ

020年度のグッドデ

をセッ

トにしなければ

勉強会でドライテック

コンクリー

ク (GNN)

る。また、製造と施工

00mと増加傾向にあ

移動式ミキサ

きっかけは、7年ほど

前に元気な生コンネッ

双方が非常に重要。

トは材料と施工品質の

あるならば、移動式の

出荷量も月当たり5

計事務所への営業が定 していただいている設

ライテック」の発売を

インダーを開発し「ド

07年頃から他社品

杉山氏

課題だった。

得にくいことも大きな

た。

供給に必要不可欠であ があるなど製品の現場

ほか、樹脂成分を排除

リゾートホテルなどでが、徐々に公共施設や

してもらいやすくした

生コン工場に協力

特徴から、納入先は今 る「ドライテック」の

ている。

具の開発も同時に進め 者の開拓および施工道

ンクリ

始めた。当社は

瓦を事業化している会ついては、石川県で廃

も住宅の外構が中心だ

した完全に無機材料の

インダーに改良し

の採用実績も増えてき

マコン)」についてお願

サを購入して、

実験を

式のコンクリ

NNで紹介された移動

日ら廃瓦を収集し、破

イルコンクリ

いる川端工業の「スマ

ト圧送業を行って

いという想いから、

福井県でコンク

クリー

トを事業化.

はあるが、透水性で

在を紹介され、

最終的

る生コン工場の協力が

現在販売している透水

そこで2012年に

し、当社の壁材を採用 発売後10年が経過

出荷は増加傾向

スマコン廃瓦を骨材に利用

中 村

当社が透水性

り、秀KEI

トを始めた

性コンクリ

を使用した「ドライ

5 () を使っていた

一般的な生コンエンを使っていた

件数は大幅に増えてい

なく、信頼できる施工

工場の製造品質だけで

場を見て、単純に自分

負えると考えた。

スマコン用の骨材に

らったことだ。その現 の施工を見学させても

自ら施工すれば責任で自ら材料を製造し

もやってみたいと思

知名度が上がり、引合

特集生 コン産業の新展

題

国士交通省が推進するグリ 透水など多様な機能が魅力 ーンインフラなどでポーラスコンクリ

携する必要がある。そこでPOCを展開する生コンや施工者、長年にわたりPOCを研究ししも構造体の品質に多大な影響を及ぼすことから、POCの普及には生コン、施工双方が連れている。透水性能をはじめ魅力ある機能を備える一方で、生コンだけでなく施工の良し悪 てきた三重大学の畑中重光名誉教授に現状の課題と今後の展望などを聞いた。 ト (POC) が注目さ

字溝や集水桝、80年代開発され、70年代にU ロックが開発された。 ト構造物の緑化設計

コンペイブ

生コン

工場で開発

畑中氏

(週刊)

G

D賞で知名度上昇

杉山氏

305を使うようにし

005や1505、1場に常備されている2

る。

少量から出荷でき

ることがメリットであ

ドライテック完全無機バインダ

に透水性ヒューム管がPOCは1960年頃 開発され、70年4 の歴史について伺いま ンクリー 畑中 まずポーラスコ 国内において P O C には歩道や駐車場のブ

す。

では92年からコンクリ になり、日本コンクリ 化に関する研究が盛ん Cの空隙構造や高強度 80年代後半からPO ト工学会 (JCI)

> 員長)、2001年から 究委員会(玉井元治委 性能設計対応型ポ らエココンクリ ら私が委員長を務めた (同委員長)、13年かに関する研究委員会 の設計・施工法の確立 法研究委員会、94年か ボーラスコンクリー 緑化幾能を与い物共生型に大別され、 が透水性ばかりに注目 の貢献などが期待でき 観の改善、透水・貯水 畿大学元教授の玉井氏 るとされた。これは近 性能を活用した防災へ 究委員会では、

右される。 勉強した人が当たり前 工によっても大きく左 この委員会活動を通 コンクリ トを

確立に関する 研究委員 標準と品質保証体制の

会がそれぞれ2年間活

性があると示されたこ 価値が付与できる可能 に対して、様々な付加 されがちだったPOC

エココンクリー

私が委員長を務めた

公共物件中

スコンクリ

トの施工

生コンだけでなく、 が、構造体の品質は、

のようにPOCの存在

料で、きちんと施工す今回POCは適切な材 発揮すると認識されて れば非常に良い性能を 本日の座談会では、

る。

水性コンクリー

と考えていたが、そう 載してもらえるように 準仕様書)、さらには建 書や日本建築学会の コンクリート標準示方 設関係の教科書にも掲 ASS5 (建築工事標 を認知し、 した時代はまだ到来し

目指した。POCは、

品質保証体制の確立を

施工標準と

全国的に安定供給して委員会では、POCを

機能性の面で魅力的な 透水性をはじめとする

ことは認識されている

いる方々が参加されて

的だった。 術館脇にある外構で 近くにある長野県 一昨年には善光表

ていない。

需要に対し、生コ

トのPRを行っている需要拡大の一環と ト舗装に偏重した道路 当初はアスファ

土木学会の 鷲澤

を中心に業界をあ ション)は、長野県 当社(炭平コー 政にコンクリー コンクリー て、5~6年前から ト工業組

コンペイブ」を開発

生コン工場で開発し ミキサ車に添加し ドラム内にも付 県や市に

話を聞かせてほし 採用実績について。まる各社の製品の特徴や ずは鷲澤社長からお願 長野県にある

平興産)で「エコロジ 当の意味でも需要開拓 社の生コン工場(炭

いる。是非、

生コン・資材の

株式タイパク

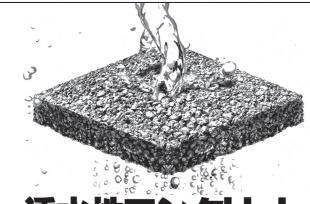
本 社 工 場 宮城県名取市高舘熊野堂字今成西37番地 利 府 工 場 宮城県宮城郡利府町飯土井字長者前75-1 名取工場 宮城県名取市飯野坂3丁目3番33号 資材事業本部 宮城県黒川郡大和町鶴巣大平字真山8

受注専用番号 🕻 022-281-0420



神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2066番地

まりの出来に透水させる 出来な





有限会社 川端工業







L 0776-59-2336 〒910-3112 福井県福井市御所垣内町 16-22-1 Homepage http://www.kawabata-cp.com

現ヒコ環像トクス ラ 次世

日工株式会社



〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島1013-1 ☎(078)947-3131 FAX(078)947-7674

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4-2 日専連朝日生命ビル 5F ☎(03)5298-6704 FAX(03)5298-6711

https://www.nikko-net.co.jp/

けたのが始まりだ。以ないかという相談を受 改めてPOCブロック を手に取って構造を目 中川氏 分かり、畑中先生との

繋がりが生まれた。

収するものの、リニアについては相当量を吸 最終的に完成したP

トを試作していた。 穴の開いたコンクリー は、経年劣化もなく、いたPOCのブロック ていた経験からコンク 前から建設業に携わっ も低減できると思い 庫でずっと放置されて POCに着目したの たまたま会社の倉 トであれば、価格 ネックで、 の研究を始めた。 にした時、これなら吸 費用が高額になるの どに持ち込んで効果を は供試体を試験機関な もはるかに安価に試験 に持ち込むとそれより 検証していたが、 音効果が期待できると 本格的にPOC 一方で大学 その 初め き、約20年前に当社ところ特許を取得で 特許を申請したが、却吸音体としてPOCの 透水性に趣旨を変えた 下された。このため、 たこともあり、 許取得にこだわってき

研究を開始した。30年 能に注目してPOCの

の商材に取り組みしや

すかった。。 そして2

てあったり、

べたつき

お願いします。

当初は吸音性

ス」についてご紹介を

N ベ

イの製造には、着色し た。また、ドライウェ

座談会出席者

り、コンクリー

室でコンクリート工学 学の嵩英雄教授の研究 ていた。私が工学院大 前に新規事業を検討し 扱う会社で、20年ほど 業者向けの壁材を主に

の塗り壁と同じようにいく中で、これは左官

この商材を販売して

材料だけでなく、

施工

を学んでいたこともあ

ということが分かっ

の品質も非常に重要だ

T.N ベ

ー ス

路床改良がカギ

中川氏

ことが分かった。個人ずかしか吸収できない

る低周波の領域ではわ

砕石(20~13㎜)を下石(13~5㎜)や5号

の改良を行うのは車巻

なりに重視にいな関道床出

や5号

ト版に影響が

的に技術者として、

が異なる骨材を使うこ 層に使用し、最大寸法

目詰まりが格段

してはほとんど行わ に対してで、歩道に

輪荷重などがな

当初は

に減る。 とで、

床の改良だ。一

般的に

もう一つの特徴は路

舗装工事では路盤材と

をしてもらえることが 水性コンフー
水性コンフーケッ て販売している。 水性コンクリー これまで紹介された

フッコ

代表取締役社長 杉

成

明

氏

炭平コーポレーション

代表取締役社長 鷲澤幸

氏

生する騒音を低減でき

三重大学

名誉教授 畑中重光氏

所に勤務していた友人近く前、鉄道総合研究

が当時研究していたリ

川端工業

代表取締役社長

中村光宏氏

層)での施工を中心に 当社の いずれも単層

れるが、 3つの透水性コンクリ を想定していると思わ

展開している。 6号砕

で硅砂利用

導させる設計、施工を
させた水を横方向に誘 路床が軟弱化し、それ透水によって長い間に良する大きな理由は、 行っている。路床を改

トを入れ、路面で透水表面に水平のV字カッ施したうえで、路床の てはセメントで改良を

あるいは雨水で軟弱化しそうな路床の場合はい。路床改良の版厚はい。路床改良の版厚はいを発揮する。セメント使用量もそれほど多くない。やはり路床に

地盤の緩い路床につい社では一切使われているが、当して再生骨材のRC40

数値も参考になるが、 中川 CBR試験の

中村 キュートのに対 ではるクレームは24年 であると思う。それ は24年 であると思う。それ は4年 であると思う。 当初から軟弱な地盤、 でで、一戸建住宅の外 をで、一戸建住宅の外 をで、一戸建住宅の外 CBR 試験の

化が早いので使わな ように柔らかい材質の し硅砂を撒くことで滑 「スマコン」の廃瓦の ウレタン表面に少 い舗装になる。

で、かなりいい色彩が表面を研磨するだけ

ト版は、ひび割れが生空洞のあるコンクリー 合わせも増えている。 シ樹脂を利用すること がメインで、現在は月 することで非常に良い ウレタンやエポキ 施工実績がある。 県外からの問 も民間の駐車場 複層にする ゙スマートアジテーター®_ 出荷から荷下ろしまでのコンクリート品質

を見える化 一般財団法人日本建築総合試験所 の建設材料技術性能証明 (GBRC材料証明 第22-4号)取得

TEL.045-719-1881 FAX.045-811-1392